

## 設定区分と定型化した情報

設定区分	集計対象	定型化した情報
設定区分①	医薬品 A	特定のデータ期間において、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品 A を処方された患者の人数</li><li>・ 医薬品 A を新規に処方された患者の人数</li></ul>
設定区分②	傷病 A*	特定のデータ期間において、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 傷病 A と診断された患者の人数</li><li>・ 傷病 A と新規に診断された患者の人数</li></ul>
設定区分③	傷病 A* × 医薬品 A	特定のデータ期間において、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 傷病 A と診断された患者のうち、医薬品 A を処方された患者の人数（診断と処方の時間的前後関係は問わない）</li><li>・ 傷病 A と診断された日以降に、医薬品 A を処方された患者の人数</li><li>・ 傷病 A と診断された日以降に、医薬品 A を新規に処方された患者の人数</li></ul>
設定区分④	傷病 A* × 傷病 B*	特定のデータ期間において、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 傷病 A と診断された患者のうち、傷病 B と診断された患者の人数（各傷病の診断の時間的前後関係は問わない）</li><li>・ 傷病 A と診断された日以降に、傷病 B と診断された患者の人数</li><li>・ 傷病 A と診断された日以降に、傷病 B と新規に診断された患者の人数</li></ul>
設定区分⑤	傷病 A* × 検査 A	特定のデータ期間において、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 傷病 A と診断された患者のうち、検査 A を実施された患者の人数（診断と検査の時間的前後関係は問わない）</li><li>・ 傷病 A と診断された患者のうち、検査 A を実施された件数（診断と検査の時間的前後関係は問わない）</li><li>・ 傷病 A と診断された日以降に、検査 A を実施された患者の人数</li><li>・ 傷病 A と診断された日以降に、検査 A を実施された件数</li></ul>

設定区分	集計対象	定型化した情報
設定区分⑥	医薬品 A×医薬品 B	特定のデータ期間において、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品 A を処方された患者のうち、医薬品 B を処方された患者の人数（各処方の時間的前後関係は問わない）</li><li>・ 医薬品 A を処方された日以降に、医薬品 B を処方された患者の人数</li><li>・ 医薬品 A を処方された日以降に、医薬品 B を新規に処方された患者の人数</li></ul>
設定区分⑦	医薬品 A×検査 A	特定のデータ期間において、 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品 A を処方された患者のうち、検査 A を実施された患者の人数（処方と検査の時間的前後関係は問わない）</li><li>・ 医薬品 A を処方された患者のうち、検査 A を実施された件数（処方と検査の時間的前後関係は問わない）</li><li>・ 医薬品 A を処方された日以降に、検査 A を実施された患者の人数</li><li>・ 医薬品 A を処方された日以降に、検査 A を実施された件数</li></ul>

\*疑い病名フラグの有無（= 1 又は null）を選択可能。疑い病名フラグに関する説明は、詳細情報 A-01 を参照。